

「希土類会議」 講演4テーマ マテリアル・トレーディング

希土類(レアアース)・レアメタル商社のマテリアル・トレーディング・カンパニー(本社 東京都港区、小滝秀明社長)は14日、東京・港の田町カンファレンスセンターで「希土類会議シリーズ」中

重希土のゆくえ」を開催した。豪資源開発会社ノーザン・ミネラルズの取り組みなど、4本の講演プログラムが組まれ、希土類を含めたレアメタル生産者や需要家、商社、関連団体など約150人が出席した。

小滝社長は主催者あいさつの中で、昨年の暴風の大海原に飲み込まれた」と説明。こうした状況の中で、「われわれ希土業界に生きる者は、目の前の現象にとらわれるのではなく、足元を見つめ一歩対策を練っていくことが必要」と指摘した。

会議の講演内容と講師は次の通り。



小滝社長は希土類市況を振り返り、「激流を登り切った」と思いきや、8月から一転して

▽「レアアースのゆくえ」2012年 平沼光・東京財団政策研究員兼政策プロデューサー

▽「蛍光体におけるレアアースの重要性」 山元明・蛍光体同学会会長(東京工科大学名誉教授)

▽「ネオジム鉄ボロン焼結磁石の最新動向」 松浦裕・日立金属NEOMAXカンパニー技師長

▽「重希土類生産への道のり」 ショージ・ポーク・ノーザン・ミネラルズ社長